



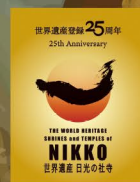
河久保正名《東照宮・陽明門と神輿舎》明治後期

KOSUGI HOAN  
MUSEUM OF ART,  
NIKKO



世界遺産登録25周年記念

# 描かれた



# 日光の社寺

Painted for Shrines and Temples of Nikko

2025年

2月15日[土]～4月20日[日]

小杉放菴記念日光美術館



五百城文哉《東照宮・五重塔》1892-1905年頃

[主 催] 公益財団法人 小杉放菴記念日光美術館／日光市／日光市教育委員会

[休館日] 毎週月曜日(2月24日は開館し、2月25日を休館)

[開館時間] 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

[料 金] 一般 730(650)円、大学生 510(460)円、高校生以下無料

※( )内は20名以上の団体割引料金

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、日光市公共施設使用料免除カードの交付を受けた方とその付き添いの方1名は無料

※第3日曜日「家庭の日」(2月16日、3月16日、4月20日)は、大学生・専門学校生以下無料

※日光市民は一般 300円、大学生 200円、高校生以下無料

# 世界遺産登録25周年記念 描かれた日光の社寺

2024年度に「日光の社寺」が世界遺産登録25周年を迎えたことを記念して、当館が所蔵する水彩画作品を中心に「描かれた日光の社寺」を展示します。

日光は1885(明治18)年に上野～宇都宮間、1890(明治23)年に宇都宮～日光間で鉄道が開通して以来、避暑に訪れる外国人は更に増え、国際的な観光地として定着しました。その時代背景として、1890年代後半から1900年代には、日光に訪れる外国人観光客のお土産品として、五百城文哉、河久保正名、小杉未醒(放菴)などの画家たちによって「土産絵」と呼ばれる水彩画が制作されます。いずれも東照宮・陽明門や神橋など「日光の社寺」の代表的な景観や建造物を精緻に描き出したことから、多くの外国人から人気を得ました。

当館が開館時より収集した水彩画作品は制作から100年以上経過し、その多くは海外に一度、渡ったにもかかわらず、今もなお色鮮やかに瑞々しさを保っています。本展では水彩画が持つ繊細な筆致と色彩から今日まで受け継がれてきた「日光の社寺」の美をお愉しみにください。



河久保正名 《輪王寺・三仏堂内部》 明治後期

## 関連イベント 講演会「聖地日光」をアートプロデュースした壬生藩士

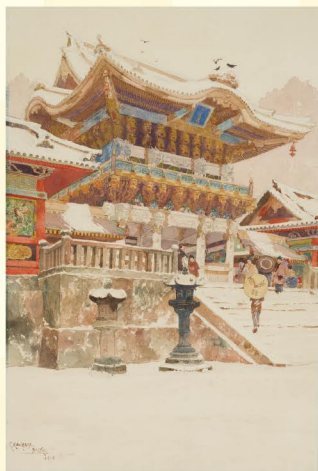
- 日時：2025年3月8日(土) 14:00～15:30
- 講師：中野正人氏(壬生町立歴史民俗資料館 学芸員)
- ※予約制(定員50名)・要入館料

## 当館学芸員によるギャラリー・トーク

- 2025年2月16日(日)、3月1日(土)、4月5日(土)
- 午前11時より(1時間程度)
- ※予約不要・要入館料



野崎華年 《東照宮・御水屋》



国府浜国太郎(小杉放菴) 《東照宮・陽明門》1900(明治33)年



五百城文哉 《東照宮・陽明門》1892-1905年頃



S.NUMABE 《輪王寺・法華堂》



Y.ITO 《神橋》



### [交通案内]

◎電車＝東武日光駅またはJR日光駅から東武バス「世界遺産めぐりバス」もしくは西参道、清滝、やしおの湯、中禅寺温泉、湯元温泉方面行バス5分。「神橋」停留所より徒歩3分。  
 ◎車＝日光宇都宮道路・日光インターから約2km  
 ◎駐車場＝併設の市営駐車場をご利用ください。美術館受付で駐車券を提示していただくと、2時間まで無料となります。

## 小杉放菴記念日光美術館

〒321-1431 栃木県日光市山内2388-3  
Tel.0288-50-1200 Fax.0288-50-1201



www.khmoan.jp